



## 江戸崎総合高校による出前授業を実施

令和5年12月13日から15日に、美浦中学校2年生を対象に、江戸崎総合高校による出前授業が実施されました。江戸崎総合高校の教員と生徒が美浦中学校を訪問し、「エンジンの組立」についての実習を行いました。高校生が講師役となって、丁寧に分かりやすく中学生に説明していました。

中学生からは、「高校生がわかりやすく教えてくれたので、すぐにわかった。」「丁寧に説明で詳しい内容も知ることができ楽しく学べた。」との声がありました。また、高校生からは、「中学生に工業の楽しさや面白さが伝わり興味を持つきっかけになればうれしい。」「今までは教わる立場だったが、今回は、初めて教える立場で授業に参加した。伝えることの難しさと大切さを知ることができた。」との声がありました。



## 美浦村消防出初式



1月7日、中央公民館で美浦村消防出初式が開催されました。式典には、村消防団員ら約100名が参加し、新年のスタートにあたり消防防災活動へ意欲を高めました。

松本博志団長は「団員一人一人が高度な消防技術の習得により、有事の際、安全・確実な消防活動を行うことができる体制の確立に努めていきたい。」と決意を新たにしました。また、消防活動功労者等の表彰が行われ、右記の方が表彰されました。

### ◎茨城県知事表彰《敬称略》

- ・永年勤続功労章 30年  
酒井 正敦 (第4分団)  
富田 正寿 (第10分団)
- ・永年勤続功労章 20年  
新堀 大輔 (第7分団)  
藤田 司 (第8分団)

## 小学生が茅葺き替えを見学



国登録有形文化財の小澤家住宅では、傷んだ茅葺き屋根の修理を行いました。修理期間中の12月には、村内の小学生が見学に訪れました。児童は茅葺き職人の松木さん、杉山さんから茅葺き屋根について説明を受け、葺き替え作業も体験しました。職人さんへ児童から沢山の質問が寄せられ、興味や関心の高さが伺われました。

## 各地区で防災訓練を実施



自主防災組織や自治会の主催により、火災が多くなり始める11月から12月にかけて木原地区、花見塚地区、大谷地区において地区の防災訓練が実施されました。いなほ消防署職員の指導により、消火栓や消火器の使用方法を確認しました。地域の防災力向上のため、引き続きご協力をお願いいたします。